

第 21 号

2011.HOYU

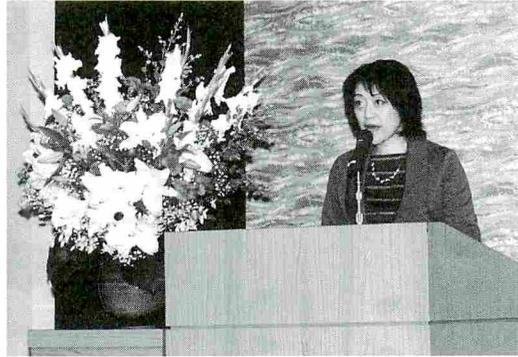
朋友



佼成看護専門学校同窓会

同窓会会長として

17期生 久野洋子



同窓会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか？今年度より同窓会会長に就任させていただきます。

ただいとおります、17期生の久野（小島）洋子

です。会長という大役を自分なりに精いっぱい務めさせていただく所存です。会員の皆様どうぞよろしくお願いいたします。

2011年は、東日本大震災がありました。会員の皆様の中にも被災された方、被災地で看護師として働いている方が大勢いらっしゃると思います。復興までの道のりは遠く長いものになりますが、私をはじめ

会員の皆様が東日本復興のためにできることをしていけたらと思っております。

今、看護師の世界は時代と共に専門性を高めていっています。常に研究心を持って仕事に向かっているかなければいけないと日々感じております。また、看護の中だけでなく色々な世界を知ること大切なことだと思っております。

同窓会会長として、祝辞を述べる機会がありますが、幅広い教養とセルフケアができることを念頭に、述べていきたいと思っています。

最後に、狭い世界にとどまらず、色々なところで活躍している会員の皆様の活躍を期待して、私の挨拶とさせていただきます。



しばらくです

1科1期生 鳥海優子



編集が未完成のまま経過をし、しばらくお休みを頂いておりました。友へお礼を申し上げましたが、ようやく行でしたが、ようやくお届けできました。お礼を申し上げますと同時に中断いたしましたことをお詫び申し上げます。

看護学校の一期生とは知らず入学し、早や40年・気がつけば「還暦」が過ぎておりました。この間、恩師である小野田敏郎先生の望み実現のお手伝いをさせていただきました。認知機能が低下された奥様を「認知症」とはお認めにならず、最後までご自分の傍で一緒に生活する事を望まれたのです。たとえ食事の回数が減っても奥様の行動・家事を否定なさることは無く、一人の女性としてお認めになっておつき合いをされていたのではないかと思います。看護教育に対しても一人一人の学生・職員へ熱意を持って教育の場・職場で精神を貫い

ておられたのだと思います。最近では、開校当初から学生指導されていた春藤先生と南窓の陽だまりで、看護学校での「キャンパス」成道会キャンドルサービス」等楽しかったことや感動を語り合うことが日課となりました。

最後になりましたが、訃報をお伝えしなければなりません。一科一期生の細谷恵美子先生が平成23年10月25日佼成病院にて死去いたしました。同期生であり、同僚でありました。続きは次号でお知らせしたいと思います。

1科3期生 物井敬子(大滝)



特養ホームの看護師になり12年が経過します。佼成病院で6年勤務し、十数年のブランクがありました

したが現場復帰しました。特養ホームの看護師の役割など全く知らず、ただ近所に新設オープンの募集が

あり勤務しました。病院とは全く違う世界に入ってしまった気がしました、特養ホームは生活の場といわれ医師の常駐化が義務化されています。身体的、精神的に障害がある利用者の症状の変化はハッキリ出る場合もあれば、全く予知出来ない型で出る場合があります。すぐそばに医師が居ればすぐ相談、指示を受ける事が出来ますが、すべて看護師の判断になります。たった6年の佼成病院の経験がその糧になっています。心臓科に勤務していた私は、循環器内科、CCU、心臓手術後の患者の看護をしていました。モニター監視しながら異常波形があれば、すぐ患者のもとに走る事もありました。理解ある医師、先輩看護師により、現場において生の指導をだれよりも多く学ばせてもらったと思っています。看護師として、与えられた環境において、常に学ぶ心を忘れず、そして、学んだ事をよりよい型で患者看護に生かす事だと思いい、日々がんばっています。



成道会

1期生 今西潤子

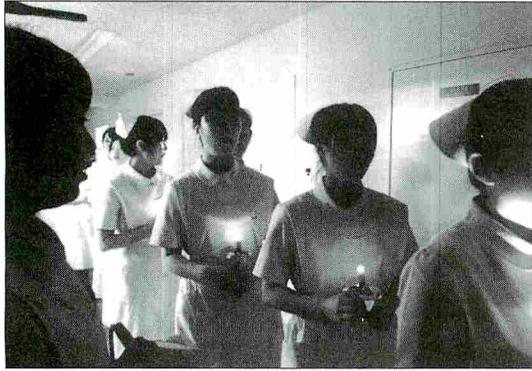


12月8日
19時過ぎから私は入院されていた松田理子先生(前教務部長)と学生の訪問を待っていました。学生が入れるようにと車椅子を壁際に

寄せ、ベットサイドを広く確保し「寝て待っていないといけないのよね、これでいいかしら」等と言いながらベットに横になり、髪を整えスタンバイしていました。学生の歌声が聞こえてきて、私は廊下に出て写真を撮とり、ベットの横で待っていました。歌いながら三年生の誘導で病室のドアからベットのそばに来てくれ、「これから一年生がカードを読みますので聞いてください。」

と、ペンライトでカードを照らした。一年生がカードを広げて読み始めたとき、松田先生は黙って聞いていました。その後「有り難う、頑張つてね」という言葉を伝えていました。一年生の緊張していた顔がほっとした印象的な場面でした。

成道会の第一回は昭和四十六年篤志行事として始まり「みほとけは」の賛歌を低く斉唱しながら病棟を巡り患者さんを見舞いました。初めの頃はカードなど無く、賛歌で慰める方法で行われました。その後、歌は「まごころを み仏に」現在は「いのちの賛歌」に変わりました。また、寮の行事から学校行事に変わり全員参加の行事として継続されていま



す。ナイチンゲールがクリスマスMASの時期に患者をなぐさめたという、その流れを汲んで聖路加ではクリスマスイブに聖歌



を歌いながら患者を慰める行事があること、本校は仏教なのでお釈迦さまが悟りをひらかれたこの日に患者を慰めようと初代の学校長小野田先生や教務部長の亀が森先生、樋口先生が相談されたという事を聞いています。

いつになっても患者さんを慰めていきたいという心をカードにしたため、一人ひとりに手渡して行われるこの行事はいいものだと感じています。カードを渡すようになったのは松田先生の時代からでした。一人一人緊張して手書きをしたり鶴を折って貼りつけてカードを作りました。卒業生の皆さんにも思い出していただけたらうれしいです。

十二月十二日（月曜日）、基礎看護学実習でひかり病棟へ実習に行きました。Aさんは成道会で学生が来てくれたことを話し

てくれました。また娘さんもその場に居たようで本人がとても喜びうれしかったですと話してくれました。ベットの横にカードを貼り付けいつでも見えるようにしてくれていました。その日、地方から来てくれた面会の人にもカードを見せて会話が弾んだようです。

学生と二人でうれしくなり、心の中に暖かいものがこみ上げてきました。毎年行っている行事ですが、患者さんに色々な刺激を与え、逆に感謝や感動の心を学ばせて頂いています。係の学生や先生方など皆の協力はすごいと今後も長く継続して欲しいと改めて感じました。

平成22年度同窓会活動

- 4月 42期生入学 齊藤同窓会会長
祝辞花束贈呈
- 7月 第10回 同窓会総会懇親会
中野サンブラザ
- 11月 42期生 戴帽式 鳥海同窓会
副会長祝辞 花束贈呈
- 3月 40期生 卒業式 鳥海同窓会
副会長祝辞 花束贈呈

28期生 小田園子



皆様、こんにちは、平成二十三年の四月より、看護学校に配属となりました。看護学校を卒業し、十

二年が経ち、今母校に戻ってきました。学校は私の時代と何一つ変わることもなく、当時の先生方（大田先生。今西先生。楠先生）もお変わりなく、現役です。寮は家具や部屋の構造は変わりましたが、共同部分の洗面所や小さなキッチンは昔と同じでした。懐かしさと変わらない校舎や寮を見て、戻ってきたのだなと実感しました。

十二年ぶりの学校なので少し思い出話をすると、今年の夏に校内の大掃除をしたのですが、その時に懐かしい記録が出てきました。私は茶道同好会に入部していたのですが、その時の書記の記録が出てきたのです。もちろん私、当時の先輩方、後輩の名前が記載されていました。記録はそれだけではなく十数期生の大先輩方の名前も・・・今現在、茶道部同好会は無く

なっていました。いつかまた茶道部同好会が復活することを夢見て、記録は私の机の中にしまっています。次に、三年間昼食会係をしていた私なのですが、卒業してゆく私たちの昼食会への思いを次の学年に残そうとして、毎月のポスターを写真に残したファイルも昼食会係用ロッカーから出てきました。このファイルを見た瞬間、当時の係メンバーやみんなに昼食会を好きになってもらおうと工夫していたことを思い出しました。学校には、思い出がいっぱい詰まっています。そのような環境で、働くことができ、幸せだと感じています。

当時の私たちを手塩にかけて育ててくれた先生方の思いを噛みしめ、私も次の世代の看護師を育てていきたいと思えます。まだまだ教員としては新人ですが、学生一人ひとりに真剣に向き合い、学生のほうから何でも相談したくなるような寛容な教員でありたいと思います。そして、学校を卒業して看護師として活躍していても、「学校に遊びに行きたい！」と思いたくなるような学校を目指したいと思えます。

学校の歴史が刻まれれば、佼成看護専門学校と同窓生の数も増えていきます。一人

ひとりが同期生と連絡を取り合って佼成看護専門学校の同窓生の絆を深めていきたいものです。

佼成病院看護師募集

佼成病院は、急性期から療養病棟、緩和病棟まで持つ三六三床の地域密着型の病院です。教育システムも充実しており新卒者はもちろんのこと中途採用者も安心して業務が出来るように責任を持って指導しております。キャリアアップを臨まれる方には専門・認定看護師や看護教育課程への進学などを病院が支援をおこなっています。

また救護活動とし、本部に同行して国内はもとより海外においても救護活動を行っています。平成二十六年には新病院も開設されますので、最新の設備のもとで存分に力を発揮してみませんか。

皆さまのご連絡をお待ちしております。

問い合わせ先

佼成病院 総務課

電話〇三二二三三三三二二八

東日本大地震を体験して

38期生 村田美貴子



二〇一一年三月十日、その日私は、日勤で病棟勤務（仮成病院五東病棟勤務）していました。

午後からは外来に行く事になり、診察の手伝いをしていました。そして十四時四十六分。初めは小さな揺れを感じました。しかし、だんだん横揺れが強くなり立っているのも必死なほど、今まで経験した事の無い揺れがやってきました。かなり長く揺れを感じました。揺れがおさまると、病院内に警報がなり、私はやっと大変な事が起きたのだと頭の整理が出来ました。

すぐに病棟に戻りました。棚のものが散乱していたり、壁が崩れており、改めて地震の凄さが感じ取れました。そして患者さんの安全確認や防災道具の準備、停電に備え自家発電機の確認をしました。準備の最中にも大きな余震があり怖かったのを覚えています。またテレビで大きな津波を見て衝撃を受けました。私の地元の青森

でも八戸に津波がきており、家族の安否が心配になりました。しかし、携帯電話も公衆電話も繋がらず。やっと数日後に連絡が取れ安心できました。けれど、本当に辛かったのはこの後からだっただけです。計画停電や店に食料品等が不足していたり、余震がずっと続いたり。

そして、あの地震からもうすぐ一年が経とうとしています。時間が経つとともに地震への恐怖や防災、節電などの意識が薄れていきましたが、まだまだ被災地の方々は辛い思いをして過ごしています。今回この原稿を書かせて頂いた事で、改めて当時の事を思い出し、意識が高まりました。二〇十二年は日本が安心して安全で過ごせるよう、私も日々頑張つて生きたいと思っています。

同窓会会計より

会費の納入につきましては、会則第六章で定めた通り（平成12年7月総会で決定）卒業時に一括納入（二〇、〇〇〇円）で終身会費としますが、未納の方には郵便振込み込用紙を同封致しますのでお支払い頂きますようお願い申し上げます。

■ 学校学務課より

証明書が必要などときには、証明書交付申請書（用紙は看護学校に備付）を提出していただく事になっていきます。必要な証明書の種類や様式などにより手数料が異なりますので、まずはじめに学校へご連絡ください。尚、作成までに時間を要する事もありますので余裕を持って計画にお申込ください。

証明書等の発行について

本校所定の様式の場合は次のとおりです

卒業証明書 一通につき 二〇〇円

成績証明書 一通につき 五〇〇円

内申書 一通につき 五〇〇円

所定外の様式・提出先の様式がある場合

一通につき 一〇〇〇円

その他、英文などの場合は直接ご相談ください。

なお、郵送料金として別途料金をお支払い頂きます。（目安として五〇〇円程度）

送り先

〒166-0012 東京都杉並区和田一―三―一四

佼成看護専門学校

電話 〇三―三三―八四一六―六一

FAX 〇三―三三―八四一〇―五七三

39期生の紹介



39期生

石川秀美

消化器内科に勤め、今年で二年目となります。様々な検査・治療の看護、化学療法施行中の患者様の看護等日々勉強させていただいています。特に癌患者様に関わる機会が多く、精神面・疼痛緩和・化学療法法の副作用に対するサポートについて学生時代に学んだことを生かし、さらに知識を深め、仕事させていただいています。時に失敗を繰り返したり患者様との関わり方について悩んだりしたこともありましたが、先輩方に支えられ仕事に邁進しています。

40期生の紹介



40期生

今野あかり 柴田美智

佼成看護専門学校を卒業し、看護師として働き始めて早半年以上が過ぎました。今西先生から同窓会委員の原稿依頼が届き、改めて就職してからの日々を振り返ることができました。

就職したての頃は、学生の時とは違う環境の中で戸惑いや不安、時間をうまく使うことができずに、患者様やそのご家族の話をゆっくり聞く時間が持てず、悩んだ時期もありました。しかし、八ヶ月が過ぎ病棟にも慣れ、少しは患者様の訴えや思いを聞くことが出来るようになってきました。

私たち同窓会委員はそれぞれ外部の病院へ就職しましたが、佼成看護専門学校で学んだことを生かしながら日々、奮闘しています。

卒業してからも学校に遊びに行けば、快く話を聞いてくれる先生方、休みが合えば一緒に行く四〇期生の仲間と出会えた佼成看護専門学校をこれからもずっと大切に思っていきたいと思えます。

